



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

東

上場会社名 株式会社アイスタイル

上場取引所

コード番号 3660

URL <http://www.istyle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉松 徹郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 菅原 敬

(TEL) 03(5575)1260

四半期報告書提出予定日 平成27年4月30日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績 (平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	6,858	33.5	536	137.0	534	148.5	251	438.8
26年6月期第3四半期	5,137	9.8	226	△58.0	215	△58.9	46	△84.6

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 385百万円 (30.6%) 26年6月期第3四半期 295百万円 (△5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	17.47	17.17
26年6月期第3四半期	3.19	3.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	6,728	4,418	65.0
26年6月期	5,758	4,246	73.1

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 4,375百万円 26年6月期 4,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

27年6月期(予想)配当期末金の内訳 記念配当 2円00銭

配当予想の修正につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正(設立15周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成27年6月期の連結業績予想 (平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	27.4	600	26.8	590	28.3	300	—	20.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正(設立15周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	14,975,800株	26年6月期	14,873,000株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	683,634株	26年6月期	188,234株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	14,398,316株	26年6月期3Q	14,643,567株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (将来に関する記述等に関して)
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成27年3月31日）の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	6,858,558千円（前年同期比 33.5%増）
営業利益	536,384千円（前年同期比 137.0%増）
経常利益	534,283千円（前年同期比 148.5%増）
税金等調整前四半期純利益	481,378千円（前年同期比 139.6%増）
四半期純利益	251,561千円（前年同期比 438.8%増）

なお、四半期純利益につきましては、前期において海外子会社等で損失を計上していたことから税負担割合が大きくなっておりましたが、当該事業が順調に進捗したことにより損失額が減少し、税負担割合が平常化したため大幅に改善いたしております。

各セグメントの業績につきましては、次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より報告区分のセグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① マーケティング事業

マーケティング事業には、@cosme、海外事業等が属しております。

@cosmeの広告売上が堅調な推移となったほか、その他サービスの売上也順調に成長いたしました。一方で、ユーザーファースト視点でのサービス開発を課題と認識しており、今期はスマートフォンサイトと、それに伴うサービス開発への投資を強化しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成27年3月31日）の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	3,379,906千円（前年同期比 33.5%増）
セグメント利益	275,427千円（前年同期比 234.5%増）

② 小売事業

小売事業には、化粧品ECサイトのcosme.com、化粧品専門店 @cosme store等が属しております。

ECサイトでは、品揃えの拡充やキャンペーンが功を奏し、売上が大きく伸びました。また、当第3四半期連結累計期間末において東京5店舗、大阪1店舗の計6店舗を運営しております@cosme storeも、2014年11月に大阪にオープンした店舗の売上が順調に伸びていることに加え、既存店も売上が伸びました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成27年3月31日）の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	3,024,549千円（前年同期比 39.4%増）
セグメント利益	270,055千円（前年同期比 61.1%増）

③ 美容事業支援事業

美容事業支援事業には、ispot等が属しております。

前連結会計年度に実施したサービスメニューの変更により収益が低下しましたが、その後の事業立て直しにより徐々に改善し、黒字化を達成いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成27年3月31日）の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	454,102千円（前年同期比 4.1%増）
セグメント利益	3,338千円（前年同期セグメント損失 51,440千円）

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ969,859千円増加し、6,728,511千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,193,166千円増加し、4,643,993千円となりました。これは主に、現金及び預金が731,925千円増加したこと、また受取手形及び売掛金が83,061千円増加したこと、営業投資有価証券が279,553千円増加したこと等によるものであります。

営業投資有価証券の増加については、第2四半期連結会計期間より、投資育成事業を開始したことに伴い投資育成目的の有価証券を営業投資有価証券に計上したことによります。詳細は「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (4)追加情報」「(営業投資有価証券)」に記載のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ223,306千円減少し、2,084,517千円となりました。これは主に、ソフトウェアが136,252千円減少したこと、投資有価証券が171,514千円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ798,185千円増加し、2,310,430千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ444,046千円増加し、1,594,776千円となりました。これは主に、買掛金が244,987千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が108,832千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ354,138千円増加し、715,654千円となりました。これは主に、長期借入金が346,055千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ171,674千円増加し、4,418,080千円となりました。これは主に、利益剰余金が238,343千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における、業績動向及び業績予想に対する進捗状況を踏まえ、平成26年7月29日に公表いたしました平成27年6月期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細については、本日別途公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正(設立15周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(営業投資有価証券)

第2四半期連結会計期間において、主に「ビューティ」に関連する企業を対象とした、投資育成事業に取り組んで行くことを決定いたしました。また、責任体制の一層の明確化を図るとともに機動的な運営を行うため、投資育成事業を行う子会社として株式会社アイスタイルキャピタルを新規に設立いたしました。これに伴い、第2四半期連結会計期間より、四半期連結貸借対照表上、投資育成目的の有価証券を流動資産の「営業投資有価証券」に計上しております。

なお、前連結会計年度の連結貸借対照表において、投資その他の資産の「投資有価証券」に含めて表示していた投資育成目的の有価証券438,394千円については、流動資産の「営業投資有価証券」に振替えております。

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日付で公布されたことに伴い、当第3四半期連結累計期間の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、前連結会計年度の35.6%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成27年7月1日から平成28年6月30日までのものは33.1%、平成28年7月1日以後のものについては32.3%にそれぞれ変更されております。

その結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が2,225千円増加し、当第3四半期連結累計期間に計上された法人税等調整額が12,108千円、その他有価証券評価差額金が14,333千円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,950,540	2,682,466
受取手形及び売掛金	1,153,737	1,236,798
商品	234,125	369,960
営業投資有価証券	—	279,553
その他	120,548	112,510
貸倒引当金	△8,124	△7,609
投資損失引当金	—	△29,686
流動資産合計	3,450,827	4,643,993
固定資産		
有形固定資産	337,131	317,295
無形固定資産		
のれん	49,368	67,426
ソフトウェア	631,390	495,137
その他	60,947	125,702
無形固定資産合計	741,705	688,266
投資その他の資産		
投資有価証券	939,795	768,281
その他	289,191	310,674
投資その他の資産合計	1,228,986	1,078,955
固定資産合計	2,307,824	2,084,517
資産合計	5,758,651	6,728,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,040	511,028
1年内返済予定の長期借入金	211,984	320,816
未払法人税等	136,559	83,154
賞与引当金	47,300	50,711
その他	488,846	629,065
流動負債合計	1,150,730	1,594,776
固定負債		
長期借入金	329,332	675,387
その他	32,183	40,267
固定負債合計	361,515	715,654
負債合計	1,512,245	2,310,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,578,002	1,586,274
資本剰余金	1,514,942	1,523,198
利益剰余金	897,913	1,136,257
自己株式	△37,660	△283,565
株主資本合計	3,953,197	3,962,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,735	290,646
為替換算調整勘定	42,052	122,834
その他の包括利益累計額合計	258,787	413,480
新株予約権	10,312	17,350
少数株主持分	24,108	25,085
純資産合計	4,246,406	4,418,080
負債純資産合計	5,758,651	6,728,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	5,137,037	6,858,558
売上原価	1,862,203	2,801,830
売上総利益	3,274,834	4,056,727
販売費及び一般管理費	3,048,520	3,520,342
営業利益	226,313	536,384
営業外収益		
受取利息	680	889
受取手数料	2,353	—
その他	3,019	5,604
営業外収益合計	6,053	6,493
営業外費用		
支払利息	2,999	3,228
支払手数料	2,500	—
投資有価証券評価損	—	1,665
自己株式取得費用	—	1,813
株式交付費	407	—
為替差損	6,919	882
その他	4,511	1,004
営業外費用合計	17,337	8,594
経常利益	215,030	534,283
特別損失		
固定資産除却損	3,025	—
減損損失	9,210	46,587
投資有価証券評価損	—	5,265
その他	1,892	1,053
特別損失合計	14,128	52,905
税金等調整前四半期純利益	200,902	481,378
法人税等合計	157,542	228,840
少数株主損益調整前四半期純利益	43,359	252,537
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,332	976
四半期純利益	46,691	251,561

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	43,359	252,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219,916	73,911
為替換算調整勘定	32,173	59,436
その他の包括利益合計	252,090	133,347
四半期包括利益	295,449	385,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,781	384,908
少数株主に係る四半期包括利益	△3,332	976

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が245,904千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が283,565千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注) 2 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (千円)
	マーケティ ング事業 (千円)	小売事業 (千円)	美容事業 支援事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,530,883	2,169,754	436,399	5,137,037	—	5,137,037	—	5,137,037
セグメント間の 内部売上高又は振替高	53	—	1,887	1,941	—	1,941	△1,941	—
計	2,530,936	2,169,754	438,287	5,138,978	—	5,138,978	△1,941	5,137,037
セグメント利益又は 損失(△)	82,327	167,581	△51,440	198,469	—	198,469	27,844	226,313

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資育成事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 27,844千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「小売事業」セグメントにおいて、銀座店の閉鎖の意思決定に伴い固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9,210千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注) 2 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (千円)
	マーケティ ング事業 (千円)	小売事業 (千円)	美容事業 支援事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	3,379,906	3,024,549	454,102	6,858,558	—	6,858,558	—	6,858,558
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10,936	—	1,323	12,259	—	12,259	△12,259	—
計	3,390,842	3,024,549	455,425	6,870,817	—	6,870,817	△12,259	6,858,558
セグメント利益又は 損失(△)	275,427	270,055	3,338	548,820	△34,180	514,639	21,744	536,384

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資育成事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 21,744千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「美容事業支援事業」セグメントにおいて、ちちまる関連事業の収益性の低下に伴い、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において46,587千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、報告セグメントを従来の「メディア事業」、「EC事業」、「店舗事業」及び「その他事業」の4区分から、「マーケティング事業」、「小売事業」及び「美容事業支援事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。